



# 小さな屋台から都市を考える

東京大学 千葉学研究室  
(ファブリック：安東陽子デザイン)

京都大学 平田晃久研究室

神戸大学 梶橋修研究室

© 富岡誠



千葉学

建築家 / 東京大学教授

© 奥村浩司(フォワードストローク)

東京大学大学院修士課程修了。日本設計、ファクターエヌアソシエイツを経て 2001 年千葉学建築計画事務所設立。主な作品に日本盲導犬総合センター、大多喜町役場等。日本建築学会賞(作品)、村野藤吾賞等を受賞。



平田晃久

建築家 / 京都大学准教授

© Luca Gabin

京都大学大学院工学研究科修了。伊東豊雄建築設計事務所を経て 2005 年に平田晃久建築設計事務所を設立。主な作品に樹屋本店、kotoriku 等。JIA 新人賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展・金獅子賞等を受賞。



浜田英明

構造物家 / 法政大学専任講師

名古屋大学大学院博士後期課程環境学研究所都市環境学専攻修了。2006-2013 年株式会社佐々木陸朗構造計画研究所勤務。担当作品に豊島美術館等。2013 年より現職。共著に『建築形態と力学的感性』。



弥田俊男

建築家 / 岡山理科大学准教授

京都大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。隈研吾建築都市設計事務所(サントリー美術館、根津美術館等を担当)を経て 2011 年に弥田俊男設計建築事務所を設立。主な作品に春日大社国宝殿等。

2016 年秋、岡山市で現代アートの国際展「岡山芸術交流 2016」が開催されています。アートを都市に根付かせ、地域の人々の意識の中で起こる変化を通して、単なる「街おこし」に留まらない都市の“develop”を探求する挑戦的な試みとなっています。その連携プロジェクトとして、屋台の店舗が軒を連ね、食を通じて人々が集う「ちいさなテロワール」と名付けた場をデザインしました。

本シンポジウムでは、屋台を制作した建築家の議論を通して、建築未満の小さな屋台が集まることで都市全体にどのようなインパクトを与えられるのかを探っていきます。

日時・場所 2016 年 11 月 23 日 [水] 15:00 - 17:00

15:00-15:45 ちいさな“テロワール”会場  
(14:30 受付開始)

16:00-17:00 旧後楽館天神校舎跡地

定員 80 名 事前申込不要

参加費 岡山芸術交流特別観賞券(屋台でのワンドリンク付)をご購入頂きます。(一般 1300 円/高校生・大学生 1200 円)

